

行政評価シート(事後評価)

コード 9-2-4	事務事業名 中学校給食	所管部課 教育部学校運営課
--------------	----------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	中学校牛乳給食及びバランスのとれた外注弁当を実施することによって生徒の健康保持を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要・補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	ミルク(牛乳)給食は学校給食法に基づく事業であり、学乳会の補助(補助金等の交付ではなく購入単価の軽減)を受け、各中学校が指定業者と単価契約を結び、学校会計(私費会計)として生徒から実費徴収を行っている。その他、シルバー人材との委託契約や、臨時職員による配膳業務の運営、事業に関する人事管理、及び保冷库の整備などの管理業務を教育委員会が実施している。また、外注弁当は、市単独事業として、市内業者に当日申し込み、代金引換えにより販売するというあっせん方式により導入した。弁当配膳業務としては、牛乳給食の配膳業務と兼務する配膳員の手配や事務報告などの事務を実施している。	
事業開始時期	14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
財源	事業費(A)	千円	3,232	3,454	5,333	4,542
	国庫支出金・都支出金					
	地方債					
	内:その他( )					
	一般財源		3,232	3,454	5,333	4,542
	所要人員(B)	人	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,637	1,632	1,632	1,632
臨時職員等賃金(C')	千円	7,045	7,598	8,923	9,094	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	11,914	12,684	15,888	15,268	
単位当たりコスト						
(E)=(D)/(牛乳給食・外注弁当実施校)	千円	851	793	935	848	

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	牛乳給食実施校	実績値	校	5	7	8	9
	外注弁当実施校	実績値	校	9	9	9	9
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成19年度の牛乳給食実施校数は、平成19年10月から開始の保谷中学校を含んだ数値。平成20年度は平成20年10月開始予定のひばりが丘中学校を見込んだ数値						
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 牛乳給食・外注弁当の喫食率	目標値	%				
		実績値	%	・ 3.9	・ 4.4	・ 4.9	75.67 ・ 5.00
	二 次	目標値					
実績値							
(指標の説明・数値変化の理由 など) 牛乳給食の喫食率については、平成19年度以前においては調査実績がなく、平成20年度は5月1日時点の喫食率外注弁当の喫食率は、年度の平均値。ただし平成20年度は4月～7月の平均値							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	平成14年、平成17年にアンケートを実施し中学校給食についての意見を集約したところ、現状に不満はないものの、完全給食を望む声も多くあった。また、学校を通して利用者の声を反映し、あっせん弁当に量的な差異をつけたり、おかずのみの注文ができるようにしたりしている。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 下	完全給食を除く中学校給食の水準は、あっせん弁当方式を実施している分、他市に比して高位にあるが、26市中本市のみが中学校給食完全実施を決定していない。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 9-2-4	事務事業名 中学校給食	所管部課 教育部学校運営課
--------------	----------------	------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>牛乳給食については、平成20年度で中学校9校全校実施となる予定であり、格差が解消されるためその後は、安全安定供給の事業内容で継続する必要がある。また、あっせん弁当については、発展的解消法を今後検討するが、今のところ現状維持を必要とする。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>牛乳給食については、生徒のバランスの取れた栄養摂取の観点から引き続き継続されたい。外注弁当については、弁当持参が困難な生徒への対応策として、利用状況等を注視しつつも、引き続き継続されたい。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>牛乳給食については、生徒の健康保持の観点から、引き続き実施されたい。外注弁当については、将来的には完全給食実施とともに廃止することが望ましいが、現状では、弁当持参が困難な生徒への対応策として、引き続き実施していく必要がある。</p>